

いしかり 市議会だより

No.215

令和5年8月1日発行

発行:北海道石狩市議会 編集:議会広報特別委員会
TEL:0133-72-3181(直通) FAX:0133-75-2280
Eメール:gikai@city.ishikari.hokkaido.jp

石狩パークゴルフ協会

令和5年5月開催の石狩市民体育大会春季大会で撮影



市議会の新しい構成が決まりました…………	2
こんなことが決まりました……………	3
代表質問／一般質問……………	4
全国市議会議長会表彰状の伝達／……	16
委員会活動だより	

市議会の新しい構成が決まりました

令和5年5月31日開催の第1回臨時会で、花田和彦議員を議長に、片平一義議員を副議長に選出しました。



議長
花田 和彦



副議長
片平 一義

総務常任委員会

総務部、企画経済部、財政部等の事務に関する調査、議案、陳情等の審査を行います。



委員長
日下部 勝義



副委員長
神代 知花子



委員
遠藤 典子



委員
蜂谷 高海



委員
片平 一義



委員
山田 敏人



委員
伊藤 一治

厚生常任委員会

環境市民部、保健福祉部の事務に関する調査、議案、陳情等の審査を行います。



委員長
加藤 泰博



副委員長
金谷 聡



委員
阿部 裕美子



委員
松本 喜久枝



委員
山本 健司



委員
青山 祐司

建設文教常任委員会

建設水道部、教育委員会の事務に関する調査、議案、陳情等の審査を行います。



委員長
高田 静夫



副委員長
上村 賢



委員
山本 由美子



委員
山崎 祥子



委員
佐藤 俊浩



委員
鈴木 圭一

議会運営委員会

議会の円滑な運営を図るための協議を行うとともに、議長の諮問に関する事項の審査を行います。

委員長 伊藤 一治
副委員長 遠藤 典子
委員 松本 喜久枝
委員 上村 賢
委員 佐藤 俊浩
委員 日下部 勝義

議会広報特別委員会

議会広報の編集及び議会インターネットテレビ放映に関する事項について審査を行います。

委員長 金谷 聡
副委員長 青山 祐司
委員 山本 由美子
委員 山崎 祥子
委員 山本 健司
委員 鈴木 圭一

※委員については議席順

一部事務組合派遣議員等一覧

監査委員

伊藤 一治

石狩北部地区消防事務組合

金谷 聡 高田 静夫

石狩教育研修センター組合

松本 喜久枝

石狩湾新港管理組合

阿部 裕美子 上村 賢
佐藤 俊浩

石狩西部広域水道企業団

遠藤 典子 松本 喜久枝
山田 敏人

民生委員推薦会委員

金谷 聡 加藤 泰博

都市計画審議会委員

遠藤 典子 加藤 泰博

空家等対策協議会委員

加藤 泰博

■党派派名一覧

党派派名	氏 名
石 政 会	◎伊藤 一治 日下部 勝義 高田 静夫 加藤 泰博 山田 敏人 佐藤 俊浩 青山 祐司 鈴木 圭一 山本 健司
公 明 党	◎阿部 裕美子 遠藤 典子 山本 由美子
日 本 共 産 党	◎松本 喜久枝 蜂谷 高海 山崎 祥子
改 革 市 民 会 議	◎片平 一義 上村 賢 金谷 聡
無 所 属 (議 長)	花田 和彦
無所属(「やさしい社会」 をつくる市民の会)	神代 知花子

※◎は党派の代表

※議席順(令和5年5月31日現在)

こんなことが決まりました



第1回臨時会 (5月31日)

傍聴者 2人

令和5年第1回臨時会は5月31日に開催され、正副議長の選挙、各常任委員会の選任、補正予算などを審議しました。

◆◆◆ 第1回臨時会 議決結果 ◆◆◆

全会一致で決まったこと

- 令和5年度補正予算 ・石狩市一般会計補正予算(第3号)
・石狩市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- 条例等の一部改正 ・石狩市税条例の一部を改正する条例案
- 承認 ・専決処分につき承認を求める件(令和5年度石狩市一般会計補正予算・第2号)
・専決処分につき承認を求める件(石狩市税条例及び石狩市都市計画税に関する条例の一部を改正する条例)

会派の態度が分かれたもの

- 承認 ・専決処分につき承認を求める件(石狩市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

石政	公明	共産	改革	無	採決結果
○	○	×	○	○	可決

(石政:石政会所属議員9人 公明:公明党所属議員3人 共産:日本共産党所属議員3人 改革:改革市民会議所属議員3人 無:無所属議員1人)



第2回定例会 (6月9日～7月4日)

傍聴者 73人

令和5年第2回定例会は26日間の会期で開催され、補正予算、条例改正などを審議しました。

◆◆◆ 第2回定例会 議決結果 ◆◆◆

全会一致で決まったこと

- 条例等の一部改正・廃止 ・石狩市テレビ共同受信施設整備事業分担金徴収条例を廃止する条例案
・石狩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
・石狩市営住宅条例の一部を改正する条例案
- その他 ・財産の無償譲渡の件
・実田辺地に係る総合整備計画を定める件
・石狩市農業委員会委員任命について同意を求める件(須藤 義春氏、久慈 貞子氏、羽田 美智代氏、酒井 志津子氏、三枝 豊氏、木村 武彦氏、袴田 勝氏、小池 裕明氏、吉田 裕行氏、高橋 祐二氏、後藤 文康氏、中田 一彦氏、河合 徳秋氏、熊倉 堺氏、小山 典子氏、伊藤 強氏、小林 卓也氏、佐々 茉奈美氏)
・財産の取得の件(歩道ロータリ除雪車、スクールバス)
- 意見書 ・アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書
・新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書
・特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書
・薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取り組み体制の強化を求める意見書
・学校給食の無償化を求める意見書
・安心して必要な介護を受けられるように制度の改善を求める意見書
・地方財政の充実・強化に関する意見書
・2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
・義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書
・「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

会派の態度が分かれたもの

- 令和5年度補正予算 ・石狩市一般会計補正予算(第4号)

石政	公明	共産	改革	無	採決結果
○	○	×	○	×	可決

(石政:石政会所属議員9人 公明:公明党所属議員3人 共産:日本共産党所属議員3人 改革:改革市民会議所属議員3人 無:無所属議員1人)

代表質問

6月15日

石政会

いとう かず はる
伊藤 一治



録画映像配信 ▶



本市の財政状況について

市税は堅調に推移している

①本市は市税の伸びとともに財政指標も改善し、今後はさまざまな市民サービスや未来に向けた投資の拡大が期待される一方、物価高騰や社会福祉関係費による歳出の増加も懸念されています。どのような見通しで今

後の市政運営に当たるか基本的な考え方を伺います。②まちの発展に不可欠な持続可能で安定した財政運営を行うには、財政調整基金のさらなる積み増しや歳出の削減等も必要だと思いますが、考えを伺います。

【答】①市では将来世代に過度な負担を残さないよう、効果的な事業の選択や基盤整備のための戦略的な投資の推進に加え、転入人口が転出人口を上回る社会増などにより令和4年度の税収額が過去最高を更新しました。しかしながら今後は世界や国内経済で成長率の減速が見通され、先行きに不透明感が漂っているものと認識しています。

②複雑多様化する行政課題に対応し安定的で持続可能な財政運営を行うためには、歳入・歳出両面にわたり財政の健全性確保に向けた取り組みを継続的に行う必要があります。市税など自主財源の一層の充実と公債費など義務的経費の縮減や「石狩市公共施設等総合管理計画」に基づく市有財産の適正管理などを進めていきます。(市長)

高齢者の保健と介護の事業一体化について

速やかな開始に向け

体制の整備等に努める

①後期高齢者への保健事業は、令和6年度までに全ての市区町村に保健事業と介護予防の一体的な実施が求められていますが、高齢者の健康維持やフレイル(虚弱状態)予防につい

て考えを伺います。②事業開始に当たり、高齢者に寄り添ったさらなる包括的なサービスの提供を望みますが、新たな仕組みづくりに向けた市の取り組み状況を伺います。

【答】①本市では成人への生活習慣病予防の指導がその後の後期高齢者への保健事業やフレイル対策へ連動する取り組みとなっていないため、これらを

横断的に実施していく新たな枠組みの構築が喫緊の課題と考えています。②昨年度に関係所管職員によるワーキングチームを立ち上

洋上風力発電の促進区域の指定に向けて 漁業者の意見を伺い協議会で議論を重ねる

洋上風力発電は多大な可能性を持つ再生可能エネルギーであり、四方を海に囲まれた日本にとって再エネの切り札ともいわれます。国は「促進区域」の

指定に向けて「有望な区域」の整理を行い、先月、本市が選定されたことと承知していますが、この背景や今後の進め方について伺います。

【答】市は昨年9月に国から示された系統の確保と利害関係者の特定と調整という課題解決を図るため道などと連携して鋭意取り組みを進め、本年、

「有望な区域」に指定されました。今後は次のステップである「促進区域」の要件に関し、まずは当該施設が漁業といかに協調し共生を図っていくかが

げ、健診データの分析や個別指導のための項目選定、集団指導の方法など体制整備の検討を進めており、次年度には速やかに一体的な実施が開始できるとの取り組みを進めています。(市長)



大事な視点であることから、漁業者の意見を伺い、地域住民や自然環境への影響に十分配慮することなど、「促進区域」の指定に向けた議論を重ねていきたいと思えます。(市長)

その他の質問

- 今期の政治姿勢について
- データセンターの地方移転について
- 緑苑台西地区の土地利用について

代表質問

6月15日

公明党

あべ ゆ み こ
阿部 裕美子



録画映像配信 ▶



子ども医療費の公費負担について

来年4月から中学3年生まで拡充

現在、全国自治体での子ども医療費助成の状況は、通院は中学3年生まで、入院は高校3年生までが最多となっており、市民は本市助成制度の対象拡大

を望んでいます。市長が所信表明で述べた公費負担の在り方の検討とは、具体的にどのような体制を目指し進めていくのか伺います。

【答】 子どもの医療費助成は国の施策による一律の制度であることが望ましいと考え、

検討を進めていきたいと思いをします。
(市長)



全国市長会でも要望してきましたが、先日、国が示した「こども未来戦略方針」では盛り込まれませんでした。一方、本市は子育て当事者の視点で施策を推進していくとの考えのもと早期治療の促進と心身の健全な育成に資する環境を整えていくため、来年4月から通院に係る医療費助成を中学3年生まで拡充する方向で

地域に根差した公共交通について

利用者のニーズに合った体制を検討

今年3月まで実証運行を行ったオンデマンド交通について、利用者からは対象地域を拡大してほしい、乗降場所がどこに設定されているのか分かり

ます。やすくなる工夫をしてほしい、などさまざまな要望が上がりました。こうした市民の声はどのように反映されるのか伺います。

【答】 今回は市内オンデマンドの運行エリアに新港地域を追加

予定ですが、要望が多い花川・樽川地区間の移動は既存の交

高齢者が自立した生活を送るために

外出を促す効果的な施策を検討する

① オンデマンド交通が市営の交通機関となることを考慮して「福祉利用割引券」の利用を認めるほか、割引した金額で利用できるような工夫も可能だ

② 高齢者がデジタル社会で取

り残されることがないよう継続的なスマホ教室の開催を望みます。また、スマホを使用しない方にも安心して行政サービスを受けられるような体制とその周知が必要だと思いますが、考えを伺います。

【答】 ① 公共交通への「福祉利用割引券」の利用は浜益厚田間乗合自動車で平成28年より

実施しています。今後のオンデマンド交通への利用拡大は実証運行での検討課題として事業者等と協議していきたいと思っています。運賃の割引については、

市内オンデマンドの利用者の多くは高齢者で割引を適用すると運賃収入に多大な影響があるため、持続可能な事業とするためにも、まずは正規料金で運行していきたいと思います。
② スマホ教室は昨年度に引き続き令和5年度も継続して

通事業者との関係を考慮する必要があるため、引き続き事業者と協議し実現に向けて検討したいと考えています。また、予約前に乗降場所を確認したいとの要望については、例えば乗降場所を地図上で視認できる媒体を検討し、高齢者にも理解しやすい工夫を行うなど市民の利便性向上を図る対応を行っていきます。(市長)

行っており、スマホの活用が困難な方もこれまでと変わりにくく窓口等で安心して行政サービスを受けることができます。また、市からの基本的な情報提供は広報で周知していますが、緊急性が高いものなどは市ホームページやSNSなどを活用して重層的に周知することが必要と考えています。(市長)

その他の質問

- ふれあいの杜子ども館周辺の環境整備について
- 石狩湾新港地域の未来づくりについて
- 脱炭素社会と地域共生社会の実現に向けた取り組みについて
- 医療的ケア児が教育を受けられるための体制整備について

代表質問

6月15日

日本共産党

まつもと きくえ
松本 喜久枝



録画映像配信 ▶



マイナンバーカードの問題について

市民には国の指示のもと丁寧に

① 別人の医療情報が閲覧されるなど、マイナンバーカードと健康保険証とのひも付けの誤りなどが全国で相次いで起きていますが、今後この問題に本市としてどう対応していく考えなのか伺います。

② 介護施設入所者のマイナ保

答 ① 誤登録など個々の事象は国の関係省庁が連携し対応していると承知しています。が、市の窓口で登録を行った市民の問い合わせに対しては国の指示のもと丁寧に対応していきたいと考えています。

② 介護を受けている方や障がいのある方など、ご自身による申請等が困難な方については代理申請等の制度を活用し、

險証の取り扱いや、障がいのある方の顔認証ができないなどの問題について、どのように対応しているのか伺います。

③ 市民が保険証のひも付け等の心配からマイナンバーカードを返納したいと申し出た場合、手続することは可能ですか。

申請と受け取りができるという対応をしています。

③ 返納希望者には総務省の通知に従いマイナンバーカードのメリットを理解してもらえよう説明し、それでも返納を希望する場合には手続きが可能です。

(市長)

高齢者「福祉利用割引券」事業の拡充について 本市に相応した効果的な事業を検討する

本市では70歳以上の高齢者と障がいのある方に「福祉利用割引券」と「福祉タクシー券」が交付されていますが、年間2千円の交付額に対して市民からはあ

まりにも少なすぎると不満の声が多く寄せられています。以前の5千円に拡充してほしいという市民の切実な要望に応え、検討していただけないか伺います。

教育行政執行方針について

教職員の働き方改革等を推進

① 昨年から市内の小中学校でAドリの活用が試験的に行われたと伺っていますが、本格的な導入に当たり、ネット環境に各学校で差はありませんか。また、個人情報への扱いは慎重に行うべきと考えますがいかがですか。

② 教育長の行政執行方針の「1年単位の変形労働時間制」を今

年度から導入することについて、その目的と内容を伺います。また、この制度を導入することで、果たして教職員の働き方改革の問題が解消されるかどうかなど、さまざまな考え方によって導入に慎重な自治体もあると聞いていますが、本市教育委員会の考えを伺います。

し出す措置を講じています。また、個人情報保護は各学校が選択したAドリの利用規約やプライバシーポリシーを市教委が確認し、セキュリティ対策に努めます。② 1年単位の変形労働時間制は業務状況に応じて週単位の勤務時間を

答 ① 市教委ではこれまで学校の授業や家庭学習等で活用してきたAドリの取り組み状況を参考に、今年度から3カ年利用する予定ですが、学校での通信環境に差はなく、通信機器がない家庭にはモバイルWi-Fiルーターを無料で貸

答 「福祉利用割引券」は本市が取り組む福祉施策の一つであり、今後は金額を単に増やすだけではなく、対象者やどのような事業内容で実施できるかなどを早期に検討し、2千円からの引き上げを念頭に置きながら市内などで議論をしたいと思います。(市長)

配分し、長期休業期間等に集中して休日を確保する制度で、本年4月から導入しました。市教委は教職員がさまざまな業務に追われ多忙な状況の中で、子ども一人一人に十分向き合うためには健康でゆとりとやりがいを持つて業務に集中できる環境を整備することが何よりも重要であると考えており、本制度の導入をもって長時間勤務が直ちに解消されるものではありませんが、働き方改革を推進する一つの選択肢として教職員が活用できるよう、環境整備を行うことは意義があると考えています。(教育長)

その他の質問

● 子どもの権利条例の制定について

代表質問

6月15日

改革市民会議

かみ むら さとし

上村 賢



録画映像配信 ▶



厚田区と浜益区の未来創造について

自然と共生する地域づくりを目指す

①道の駅石狩「あいろーど厚田」を将来も持続できる施設にするには事業や計画などを長期的に示していくことが重要だと思いますが、考えを伺います。

②厚田区と浜益区は都市と自

然が調和した共生社会の実現により生涯にわたって生きがいと誇りを持つて暮らせる地域づくりを目指すとしていますが、どのような取り組みを進めていくのか考えを伺います。

【答】 ①道の駅石狩「あいろーど厚田」は開業からの入り込み客数が210万人を超えるなど地域経済の活性化に大きく寄与できたと感じています

が、冬の閑散期の施設利用など課題も見え、今後は観光振興計画で掲げる情報発信機能の強化や地域住民のコミュニティースペースとしての活用推進等によるさらなる魅力アップに努めます。②市では環境基本計画を定め、産業振興と

自然保護や生物多様性の保存のバランスを取りながらこれらの恵みを次世代に残し、将来にわたり享受できる地域を創造したいと思えます。

(市長)

▼道の駅石狩「あいろーど厚田」



安心して暮らせる

豊かでしなやかな地域社会について

今後関係機関等と連携し

幅広い施策を総合的に推進

①国が長期安定的な雇用対策を示す中、本市も外国人労働者をより一層受け入れるために行政サービスもワンストップで対応できる取り組みが必要だと思いますが、考えを伺います。

②所信表明では保健と介護の事業を一体的に取り組むことで健康寿命の延伸を目指すとしており、自立支援介護事業を同時に行うことも重要だと思いますが、考えを伺います。

【答】 ①本市では相談内容に応

じて市役所関係所管はもとよ

次世代につながる社会インフラの構築について 再エネを用いた脱炭素型交通技術導入を調査

①公共交通需要の下落傾向と利用者の減少が課題となる中、地域公共交通のリ・デザイン(再設計)について市長の考えを伺います。

②石狩—札幌間は冬期のバス

定時運行や輸送能力に課題があり、本市は脱炭素型交通技術の調査研究を行うとしていますが、市長が描く新たな交通手段の考え方を伺います。

【答】 ①昨年度、本市ではAIを活用したオンデマンド交通の実証運行を行っており、今

後も複数の交通サービスを有機的につなぎ合わせ、地域公共交通の確保に取り組みます。②脱炭素型交通の調査研究

は、かつて検討されていた軌道系公共交通に現在の新技術と再生可能エネルギーという新たな地域資源を用いて再度検討するもので、経済性や持続性はもとより時代が求めている脱炭素化の可能性につ

り北海道外国人相談センター等につないで対応していますが、今後も適切に情報提供できるような体制等を検討します。

②市では自立支援型の地域ケア会議を開催し、ケアマネジャーの研さんの場を提供しており、引き続きケアマネジャーと連携し介護の質の向上に努めるとともに、国が推奨するケアプラン点検の導入についても検討していきます。

(市長)

て検討を進めます。

(市長)

その他の質問

- 未来を担う子どもたちの育みについて
- DXによる市民生活の資質向上と新たな価値の創造について
- 石狩湾新港地域の未来づくりについて
- 脱炭素と地域共生社会の実現について
- 新しい社会で生きる力の育成について
- 学びを支える家庭・地域との連携協働の推進について
- 教育行政執行方針の結びについて

一般質問

6月16日

石政会

すずき けい いち
鈴木 圭一



録画映像配信 ▶



子どもの職業体験事業について

意欲や関心を高める好機と認識

①5月に石狩青年会議所が主催した小学生向けの職業体験事業について今後も市として後押しする考えがあるか伺います。
②学校教育での知識習得の観点からも社会で働くことの意義などについて学びの機会の

創出は重要だと思いますが、教育長の考えを伺います。

③企業等と連携して体験する事業分野を増やすことはさらなる意識向上や将来の職業選択の幅を広げることにつながると思いますが見解を伺います。

〔答〕①市は開催に当たり会場・花川北コミュニティセンターの使用料免除や藤女子大学の学生による運営ボランティアなど教育委員会と役割分担し協力しましたが、今後については石狩青年会議所と協議の上、検討したいと思えます。(企画経済部)

②学校教育での職業体験はキャリア教育の一環として現在、中学2年生を対象に120

を超える事業所の協力を得て実施していますが、今後は新港地域で操業する体験先企業のさらなる拡大に取り組んでいきたいと思えます。
③子どもたちにとって学校内外で職業体験の機会があることは自分の将来の夢や希望の実現に向けた意欲や関心を高めるもの、学びの意識の向上にもつながるものと考えています。(教育長)

地域ブランドの構築について

イベント等を活用し魅力を発信

市外からの来場者が多い「フィールドグッドフェス」や「ライジングサンロックフェスティバル」は経済効果も大きい

と考えますが、こうした民間主催のイベントを活用した石狩の知名度向上について市の見解を伺います。

旧花川南浄水場の施設処分について

次年度の経営戦略見直しの中で判断

①8年前から放置されたままの旧花川南浄水場について市はどのような考えで施設処分や利活用の検討を進めてきたのか、これまでの経緯を伺います。
②民間に売却した場合の土地利用に係る固定資産税は年間どれくらい見込めるのか伺います。
③現存施設の利活用は難しく撤去が必須と考えますが、いつまでに判断する予定なのか伺います。

型市場調査では解体費が莫大で現状のままでは市場性が薄く、更地であれば活用の可能性があるとの意見をいただいています。②当該施設は市所有のため固定資産税は課税さ



▲旧花川南浄水場

〔答〕市では会場内で観光デジタルマップの利用を促すための2次元バーコードの掲示や飲食店と特産品等の魅力発信を行う予定で、今後もさまざまな機会を捉え消費や交流人口の拡大を図ります。(市長)

れていませんが、本年1月1日現在の課税標準額をもとに試算したところ土地のみで年間約40万円です。③施設の処分方針等については令和6年度に予定する「石狩市水道事業経営戦略」の見直し作業の中で、今後の社会情勢等を見極めた上で必要な判断をしていきたいと考えています。(建設水道部)

その他の質問

- 市民への情報発信について
- 児童生徒の学力向上対策について
- U・I・ターン新規就業支援事業について
- 漁業の加工支援について
- 文化ホール建設について
- 総合体育館について
- 全国高等学校総合体育大会について

一般質問

6月16日

公明党

やまもと ゆみこ

山本 由美子



録画映像配信 ▶



本市のオンデマンド交通について

事業者と連携し維持確保に努める

①市は通勤オンデマンド交通と市内オンデマンド交通の実証運行の際にアンケートを実施していますが、市民からどのような声が寄せられ、どのような課題が見えたのか伺います。

②足腰が弱い高齢者から自宅に近い乗降場所を求める声が

多く聞かれますが、既存のバス停や大型スーパーだけではなく、個人商店の前や住宅街の公園など市民の希望する場所を乗降場所として今後も追加していくことは可能なのか伺います。

答 ①アンケートに寄せられた要望から見えてきた課題は、土日でも平日と同じレベルの運行体制の確保が必要であることや、電話予約を含め高齢者にも分かりやすい事業とするために、より工夫を凝らしていくことであると認識しています。

②乗降場所は既存のタクシー事業者と事業内容が重なって

しまうため、自宅からの乗車は難しいと考えていますが、持続可能で地域特性に応じた交通サービスになるよう事業者等と連携し、維持確保していく考えです。
(企画経済部)

期日前投票の拡充について

地域動向を見定め慎重に検討

①選挙で投票所まで行くことが難しい高齢者や部活動などで忙しい高校生などのために、現在、厚田区や浜益区で実施されている移動式の期日前投票所を旧石狩地区にも開設することが必要だと思いますが、考えを伺います。

②スーパーなどに期日前投票所があれば、通勤や買い物の途中に投票を済ませることができ、投票率向上にもつながると思います。選挙期間中に日時限定で構いませんが、期日前投票所を市の施設や商業施設などで開設する考えはありませんか。

答 ①移動期日前投票所は高齢化等で投票管理者等の確保が困難となっている実情を踏まえ令和3年度より厚田区や浜益区で行っています。が、旧石狩市域でも同様の課

題を抱えている地域もあることから、実施地区の拡大は動向を見定め、投票機会の公平性にも十分勘案の上、慎重に検討したいと考えています。

②移動期日前投票所の運営

高校生の通学費の助成について

政策効果や実態把握を踏まえ検討

石狩市内には公立高校が2校しかなく、多くの子どもたちが札幌市内の公立高校や私立高校へ進学し、通学費が大きな家計負担となっています。近隣では札幌市と北広島市で高校

等通学費の助成支援を行っており、未来を担う子どもたちを育むという観点からも、本市でも高校への通学費の助成制度を設けるべきと考えますが、いかがですか。

答 高校等への通学費助成は切れ目のない子育て支援や

移住定住促進などに有効な施策であり、管内他都市でも

には三重投票に対する確認作業が求められており、そのためのシステム更新やコストに加え、セキュリティなどの問題もあることから、現時点での増設は非常に難しいと考えています。

(選挙管理委員会事務局)



事例があることは認識していますが、本市としては政策効果を慎重に判断しながら引き続き検討していきたいと思っています。

(企画経済部)

その他の質問

●公園の整備について

一般質問

6月16日

日本共産党

やまざき さちこ

山崎 祥子



録画映像配信 ▶



全ての子どもたちに学校給食の無償化を 国による調査と課題整理の動向を注視する

共産党市議団は8年前から学校給食無償化を求めています。平成30年の参議院文部科学委員会では政府は学校給食法の規定について経費の負担区分を明らかにし、例えば、保護者の経済的負担の現状から地方公共団体や学校法人が児童の給食の一部を補助するような

場合を禁止する意図ではないとし、この一部の補助には無償化が含まれているという答弁をしています。また、子育て支援として給食無償化に取り組み自治体が全国的に増えており、本市でも早急な実施を求めますがいかがですか。

答 学校給食の食材などに係る経費は、学校給食法第11条で給食費として保護者負担としています。また、給食費の無償化は現在、全国の自治体でそれぞれの状況に応じて無償化を判断しているものと理解しております。また無償化の件につきましてはこれまでも答弁しているように、国に

において整理すべきものと認識していますが、国は「こども未来戦略方針」で給食費の無償化に関して、自治体の取り組み状況の実態調査と課題の整理を行うとしているため、その動向を注視していきたいと思えます。
(生涯学習部)

放課後児童クラブの増設について

子育て実態調査を行いニーズを把握

①昨今は一人親や共働き家庭が多く、祖父母も身近にいないなどの状況があり、不審者との遭遇など子どもたちを取り巻く環境は変化しています。そのため放課後児童クラブを希望する保護者が増えています。現在、市が把握する待機児童数を伺います。
②厚労省は「新・放課後子ども総

合プラン」を策定していますが、これに基づく本市の受け皿整備について伺います。③厚田区や浜益区では親戚や地域内でのつながりで、子どもたちの居場所を苦勞して作っている状況です。保護者の就労等を応援し、児童の成長を手助けするための受け皿の整備を求めますがいかがですか。

答 ①放課後児童クラブは厚田区と浜益区を除く全ての小学校区で13カ所開設しており、現在は624人の児童が利用してい

ます。大半のクラブが定員に到達している状況であり、待機児童は13人です。②「石狩市子どもビジョン」では令和2年度、6年

小児夜間診療の開設について

課題が多く現時点では難しい

市内に1カ所だけだった小児科が2カ所に増えたことは保護者として大変心強いことです。ご尽力に感謝しています。が、子どもは夜間に体調を崩す

ことが多く、遠い病院まで行かずに市内ですぐに診療してもらえよう小児夜間診療の開設を検討していただけないか伺います。

答 市としても市民のニーズに沿って夜間や休日身近な地域で受診できる救急医療体制を構築することは非常に重要

であると思っておりますが、小児救急として専門的な診療を行うには医療機関数や小児科医をはじめとする医療スタッフ

度のクラブの必要量を見込んでいますが、保護者が就労している家庭が年々増えており、特に双葉小学校区と紅南小学校区でニーズ超過が発生しているため今年度中に「子ども子育て家庭の生活実態調査」を行い、クラブ利用を含めた支援ニーズを把握し、この調査結果を基に次期計画で必要量の見込みを立て、支援体制の整備に取り組んでいきます。③厚田区・浜益区では両区の保育園で開放事業を実施しており、小学校就学児童の放課後の安全確保と子どもの健全育成を図るための場を提供しています。(保健福祉部)

の確保等に課題があり、現時点で体制の整備は難しい状況です。なお、夜間や休日に子どもが急変で困ったときは、専門家からアドバイスを受けられる「北海道小児救急電話相談」や本市も参画する「救急安心センターさつぽろ」などがあり、今後も市ホームページ等で周知を図っていき、いろいろな自治体等を参考にしながら調査研究をしていきます。
(保健福祉部)

一般質問

6月16日

改革市民会議

かな や さとし

金谷 聡



録画映像配信 ▶



動物発見通報システムについて

適切な対処の周知啓発を強化する

最近、市内住宅街でエゾシカに遭遇する機会が増え、衝突事故等のリスクが懸念されます。エゾシカが草木を食い荒らすことでヒグマがえさを求めて人里に現れることもよく耳にすることから、人体に危害を加える

る恐れがある動物を発見した場合、緊急度によって警察への通報はもちろんですが、出没情報をデータベース化し今後の対策を検討するため、本市の公式LINEの通報システムを活用する考えはないか伺います。



【答】 ヒグマは人身事故の危険性が高く被害防止を最優先する必要があるため「石狩市ヒグマ出没マップ」でデータベース化し公表していますが、エゾシカは臆病な性質で人を襲う恐れがないことから、出没情報のデータ化よりもエゾシカに関する正しい知識と出

没時の対処法、運転時の注意点等の周知を優先すべきと考

えており、市ホームページや回覧などの手法を活用して周知

啓発の強化に努めていきます。(環境市民部)

石狩版元気ショップの拡充について

課題を整理し定期的な実施を検討する

4月に第1回石狩版元気ショップが市内5カ所の障がい者支援施設の参加によりイオンスーパーセンター石狩緑苑台店で開催され、多くの来場者でにぎわい大成功を収めました。この素晴らしい取り組みが障

がい者の活動推進の好機となるイベントとして定着するよう、今後継続して実施する考えはないか伺います。また、さらに多くの支援施設に参加していただくために、今後どのような周知を行うのか伺います。

【答】 本市では初となる石狩版元気ショップをイオン北海道

(株)のご協力により1日限定で開催しました。当日は雨天

いしかりデーの拡充について

食育の充実と合わせ検討する

いしかりデーは市内の小中学校で季節ごとの旬の地元産食材を使用した給食が提供される日で、子どもたちには大好評な上、食育で地産地消にもつながり、これからの石狩市を担

う子どもたちが地元に着々と誇りを持つことができる素晴らしい取り組みだと評価しています。年に5回だけの実施では効果は限定的なため、さらなる拡充を図る考えはありませんか。

【答】 学校給食は調達に当たって食材の安定した量と規格の確保や費用など、一定の要件で選定しています。いしかり

デーは地元野菜の収穫期間も考慮しつつ、関係者のご尽力をいただきながら実施していますが、拡充は引き続き、食育の

その他の質問

- 石狩市手話に関する基本条例制定十周年に向けた取り組みについて
- 子どもの仕事体験事業について
- 市内小中学校校舎の長寿化について
- 絶滅危惧種アカモズの保護について
- 投票率アップに向けた取り組みについて

充実と合わせて検討していきたいと思います。(教育長)

一般質問

6月19日

石政会

くさ か べ かつ よし

日下部 勝義



録画映像配信 ▶



市道の舗装改修工事について

優先順位を決定し整備を実施

①現在、花川南地区を中心に市道の舗装改修工事が行われていますが、今後の道路整備について市の考え方を伺います。

②生振地区の未舗装道路では、トラクターや作業用トラックなどの車両通行による土ぼこ

りや砂利の飛散などで農作物の成長に影響が出るといふ農村部特有の悩みがあり、地元からは生振2線や生振3号線の舗装要望が上がっていますが、この地区の道路整備計画はあるのか伺います。

答 ①市道整備はこれまで主にバス通りなどの幹線・準幹線道路や地域間をつなぐアクセス路線、災害時での緊急用道路といった重要な路線で交通量や道路の劣化度等を踏まえ優先順位を決めて実施しており、二次的な改修工事として日常の市民生活に影響を及ぼす生活道路についても花川南地区を中心に再整備を進めています。

②未舗装道路は砂利の補充やグレーダーでの路面整正により安全に通行できるよう適宜維持管理に努めています。生振2線などの未舗装道路は農村という地域性もあることから、利用実態や地域の声も踏まえながら、事業の優先度を検討していきたいと思えます。（建設水道部）

生振地区の不法堆積物について

今後も原因者に厳しく指導を行う

生振地区で長年の課題となっている堆積物は、他人の土地を不法に占有しその範囲を年々拡大しているため、地元町内会は毎所要望書を提出していますが、市からの注意や是正

勧告に対し、その時は若干良くなるものの元に戻る状況です。また、市道にかかる部分の側溝にも物を置いて使用していますが、現在の市の対応状況と今後の対応について伺います。

答 生振地区の不法堆積物問題については市としても定期的に現地を訪問し、原因者に対し堆積物の売り払いや処分により減らしていくよう指

導しており、弁護士や環境省にも相談をしています。原因者が所有権を主張している以上、同じような状況で自治体が強制的に撤去を執行するな

オンデマンド交通について

9月から実証運行再開を予定

①昨年（今年3月に実証運行したオンデマンド交通「いつモ」は、今後も実証運行を行うとのこと、どのような内容になるか伺います。②新港地域や高齢者にとって交通事情は切実なものがあ

れば企業が取り組むと思います。が、現時点では成立しないからこそ行政がその価値を提供する必要があると考えます。実証運行で利用者ニーズが浮かび上がったと思いますが、本格運行への移行について市の考えを伺います。

答 ①今年度は実証運行を9月より再開し、企業から要望が多い土日運行や突発的な残業に対応するため花川北や花川南と

新港地区を繰り返し運行する乗り継ぎ便の追加を予定しています。これにより麻生駅と手稲駅への直行便より短時間運行と

どの事例はなく、また、他人の土地を使用していることについて市は被害者となりえないことから、被害に遭われている土地所有者から問い合わせがあった場合には、警察に通報するよう伝えています。現在は抜本的な解決策を見いだせない状況にありますが、市では市道にかかる不法な占拠も見受けられることから、引き続き、道などとも連携を図りながら、粘り強く原因者に対し厳しく指導を行っていきたいと思います。（環境市民部）

なることから、従業員等のニーズに合わせてきめ細かく市庁舎やラルズマート花川南店で乗り継ぐことが可能となります。

②このオンデマンド交通が交通空白地や新港地域で利便性の高い交通サービスとなるよう今回の実証運行で検証を重ね、令和6年度の本格運行に結び付けていきます。（企画経済部）

その他の質問

- 移動式投票所について
- 市の成長戦略について
- 高齢者のフレイル予防について

一般質問

6月19日

公明党

えん どう のり こ
遠藤 典子



録画映像配信 ▶



市の浜益温泉無料送迎バスについて

秋ごろをめどに月2回の具体化を検討

①厚田区で実施されている市バスによる浜益温泉への無料送迎事業は、利用者の声を受け、令和元年に1人が利用できる回数を月2回とする試験運行を実施しました。高齢者の外出機会を増やし心身の健康増

進を図る意味からも回数が増えることは望ましいと思いますが、市の評価を伺います。
②試験運行は新型コロナウイルスにより1回しか実施できず中止となりましたが、再開のめどについて伺います。



▲浜益温泉

答 ①令和元年11月に実施した試験運行は大きなトラブル等もなく終了し、試験運行後のアンケートでは月2回の利用を希望する声が多かった結果となりました。
②令和2年4月に再度予定していた試験運行は新型コロナウイルスの影響で中止となり現在に至っています。5月に5類感染症に移行し

た新型コロナウイルスの状況等を踏まえ、秋ごろをめどに

試験運行はせずに月2回の利用が具体化できるよう検討し

ていきたいと考えています。
(厚田支所)

厚田区と浜益区の歯科診療について

引き続き関係機関との協議を重ねる

厚田区と浜益区では地域内に歯科がなくなり通院時間と交通費の負担が増えて困っているとの切実な声が聞かれます。歯科医療は直ちに命にかかわる分野ではないと軽んじて見られがちですが、認知症の進行や転倒のリスクにつなが

ることなどから高齢者の全身の健康を維持し予防するためにも口腔ケアが必要です。市は両区での歯科診療の再開に向けて尽力されていることを理解していますが、その現状と今後の可能性について伺います。

答 市は札幌歯科医師会や

北海道医療大学などと新た

な歯科診療所の開業や訪問診療などの可能性を含めた協議に加え、歯科医師確保の依頼と情報提供などを行ってまいりましたが、残念ながら現時点では実現には至っていません。引き続き機会を捉え、両区の歯科医療体制の確保に向け、さまざまな関係機関と意見交換や情報収集を重ねていきたいと思っています。
(市長)

投票しやすい環境の整備について

支援ツール導入事例を踏まえ検討

近年、全国の自治体で導入が進んでいる投票支援カードは、候補者名を読んでもほしい、代筆してほしい、コミュニケーションボードを使ってほしい、などの項目にチェックを入れ、

入場整理券と一緒に係員に手渡すことでスムーズに投票できる仕組みです。障がい者や高齢者などが安心して投票できるように、本市でも導入する考えはありませんか。

答 投票所でのサポートはこれまで各受付で案内板等を設置するなど環境づくりに

努めています。投票支援カードやコミュニケーションボードなどの支援手法は選

挙に限らず行政の窓口業務や災害対応等に活用があることから、現在、市部局で導入を予定していると聞いています。「(仮称)石狩市情報コミュニケーション条例」の進捗状況等を踏まえ、今後、市部局と連携を図り取り進めていきたいと思っています。
(選挙管理委員会委員長)

一般質問

6月19日

日本共産党

はち や たか うみ

蜂谷 高海



録画映像配信 ▶



地域自治区の延長を求める

令和7年度末で廃止を予定

10月に合併から18年目を迎える中、本市では合併特例法に基づく地域自治区を設置していますが、現在、人口減少による衰退が加速している浜益区と厚田区で振興策の中心的な役割を果たすのは地域自治区・支所だと考えます。その中で、

地域協議会は単なる諮問機関ではなく自ら建議できる機関としてなくてはならない仕組みであることから、合併20年を経た後も地域自治区の延長は必要不可欠であると考えますが、見解を伺います。

答 これまで合併特例債の発行期間が平成26年と令和元年に2度延長となったため、地域自治区の設置期間も延長してきました。今後延長がない場合は、設置期間がその趣旨からおおむね10年程度とされ本市でも目的は既に果たしたものと考えていることから、合併20年となる令和7年度末をもって地域自治区は

廃止されることとなります。一方で、今後より市の一体性を育むことや地域の意見が行政に届く仕組みが必要と考えており、これまで地域協議会が果たしてきた役割の継承や支所の在り方などについて地域の方々と質の高い広範な議論をしていきたいと思っています。

(市長)

浜益区・厚田区の歯科診療再開を

引き続き関係機関と粘り強く協議する

①市街地で暮らす住民と両区で暮らす住民の健康に格差を生んではなりません。歯科医募集の方法として業界誌などに広告等は出しているか伺います。

②歯科医院誘致に当たっては、昨年開院した小児科医院の場合と同様に助成金を給付するなどさまざまな手法を検討して、支援の仕組みを作る考えはありませんか。

答 ①医療業界誌への募集広告は札幌歯科医師会の会員向けの情報提供が最も効率が高いと考え行ってきたところですが、引き続きこの掲載も

含め効果的な募集方法を探っていきたいと思っています。

②助成制度は採算が合わない状況では撤退の懸念もあることから現時点で公的支援を行

う考えはなく、小児科誘致の際と同様に将来的な受診の動向や費用対効果など安定的な経営に向けた情報収集や分析を行った上で慎重に対応すべき課題だと考えています。

(副市長)



浜益区・厚田区の公的住宅について

空室状況等を把握し整備を検討する

①両区では住宅問題が切実な状況となっており、移住者向けや各世代などさまざまなニーズに対応する公的住宅の整備が急務だと考えますが、見解を伺います。②「合併まちづくりプラン」には公営住宅とケアハ

ウスの建設も含まれていますが、なかなか実行されないためやむをえず市外転出してしまっケースもあります。今一度この計画に立ち返り、現在の課題にも対応できる整備事業を求めますがいかがですか。

答 ①市は本年、両区の公的住宅の現況や居住ニーズの調査を行った結果、入居可能な住宅はあるものの今後の需要

状況によってはさらなる住宅の確保が必要であると認識したところです。今後は空室状況を随時把握して情報を提

供するなど既存住宅を活用した支援を行い、新たな住宅整備も検討を進めます。

②これまで現状認識等がしっかりできていなかったことから、多種多様なニーズに応えられるよう今後も住宅状況の把握に努めます。

(企画経済部)

その他の質問

●子ども医療費の窓口負担について

●一次産業での燃油、肥料、飼料、資材費等の高騰対策について

一般質問

6月19日

無所属
〔やさしい社会をつくる市民の会〕

くましろ ちかこ

神代 知花子



録画映像配信 ▶



選挙で届いた市民の声をどう受け止め取り組むか 地域住民の多様な意見に十分配慮し施策を進める

①選挙の結果から市民の一定数が洋上風力発電に対し市の方向性などに懸念を持っていると思われるが市はどのように考えていますか。②市民から市職員の市内在住率の低さが地域課題の解決に対する意欲の低下

や防災体制のもらさにつながつていると問題視する声が上がっているほか、花川地区の住民からは自宅前の道路陥没がいつまでもたっても修繕されないという声も聞かれます。これらの課題にどう取り組むのか伺います。

【答】①市は洋上風力発電の推進について市民から多様な意見があることを承知しており、今後設置される法定協議会で地域住民や自然環境への影響に十分配慮するなど議論を重ねていきます。(企画経済部)

②市職員に市内居住を強く望む市民の思いは承知していますが、職員の意欲は決して低くなく、コロナ対策や災害時など突発的な行政課題にもしっか

り使命感を持って対応しており、今後も「石狩市人材育成基本方針」に基づき職員の能力開発等に努めていきます。また、道路修繕について市では定期的なパトロールに加え、令和3年度からはLINEを使用した通報システムで破損箇所の早期発見に努め優先順位を決めて対応し、花川南地区では生活道路の再整備も実施しています。(副市長)

石狩湾新港で計画中の新規事業について 再エネ地産地消型の発電所建設等を予定

①先日、新聞報道された新港地区での地域バイオマス発電と、軌道系交通として都市型ロープウエーの導入調査について概要と目的を伺います。

②保全すべき生物の生息域でも再エネ事業が進められています。本市が掲げる再エネと自然環境の共生とはどのような取り組みなのか伺います。

【答】①丸紅(株)と大成建設(株)が出資する石狩地域バイオマス発電(株)は木質専焼の再エネ地産地消型の発電所を新港地域に建設することを発

表し、市は関連計画に基づき地域の未利用資源を生かし農山漁村の活性化に寄与する事業として認定しています。また、軌道系交通は国内で進展する

ワクチン接種後の健康被害について 国の救済制度や相談先の周知に努める

①コロナワクチンの接種後に体調不良が続くワクチン後遺症の方が増えていると報道されていますが、市はこうした方の相談や数を把握しているか伺います。また、国の健康被害救済制度への問い合わせ数や

実際の申請者数と年齢、概要を伺います。
②子宮頸がんワクチン^{はしか}の場合は国の認定が下りるまで自治体独自の医療費支援が講じられたのに、コロナワクチン^{はしか}はなぜ検討されないのか伺います。

【答】①副反応を疑い受診を希望する方には、かかりつけ医やワクチン接種をした医療機関で受診いただくよう道より通達されており、直接相談があつ

たのは20件です。健康被害救済制度の状況を道に確認したところ、申請件数や年齢、個別の内容は非公表とされ、概要を示すことはできません。

交通技術と本市の再エネを活用して新たな公共交通の可能性を検討するものです。

②再エネの推進は温室効果ガス削減による気候変動の抑制に寄与し、開発に当たっては環境アセスメントなどさまざまな法制度の主旨を踏まえ、周辺環境への影響回避や低減を図る必要があると考えており、制度の中で環境の保全と利用の両立、都市と自然が調和した自然共生社会の実現を目指していきます。(企画経済部)

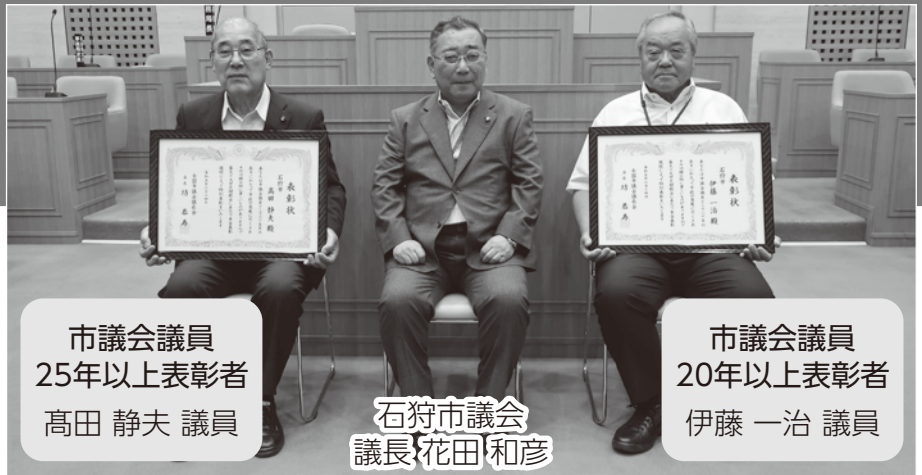
②コロナワクチンの接種は国、道、自治体の役割がしっかりと定められ、現時点で市独自の救済制度を設ける考えはありません。全国市長会では接種後の副反応で健康被害が生じた場合には早期適切な救済と必要な措置を講ずることについて要望書を提出しており、国の動向を注視しながら対応していきたいと思います。(保健福祉部)

その他の質問

●緑苑台地区の宅地造成と生活環境について

全国市議会議長会 表彰状の伝達 (7月4日)

第2回定例会本会議開会に先立ち、
全国市議会議長会表彰状の伝達を行
いました。



市議会議員
25年以上表彰者
高田 静夫 議員

石狩市議会
議長花田和彦

市議会議員
20年以上表彰者
伊藤 一治 議員

委員会活動だより

各委員会が4月～6月に審査した議案などをお知らせします。

総務常任委員会

○主な調査項目

石狩市地域防災計画の一部修正、オンデマンド交通の実証運行、公共施設等総合管理計画実施計画 ほか

厚生常任委員会

○主な調査項目

令和5年度全国高等学校総合体育大会「インターハイ」ソフトボール競技大会の開催

建設文教常任委員会

○主な調査項目

令和4年度除排雪事業、令和5年度石狩市立学校の児童生徒数・学級数 ほか

議会運営委員会

第2回定例会までに届いた16の意見書は、本会議提案10、審議未了4、保留1、取り下げ1という結果になりました。

※意見書は議会運営委員会で審議し本会議で議決します

※審議未了とは、議会の会議に付託された議案等の案件が当該会期中に決着せず、継続審査の決定もされず
に会期を終えるに至った場合のことです

※石狩市議会政務活動費収支報告の概要を毎年8月号に掲載していましたが、紙面の都合上、掲載ができませんので
詳細はホームページをご覧ください

定例会開催予定

次回の第3回石狩市議会定例会は9月
5日(火)から開催を予定しています。

表紙の団体「石狩パークゴルフ協会」

平成8年設立。現在は6同好会に約200名が在籍し、緑苑台パークゴルフ場、
シーサイドみなくるパークゴルフ場などで例会を開き親睦を深めるほか、市民大
会や協会の大会で腕を競い、全道・全国大会にも積極的に参加しています。

問合せ 事務局長 沢口さん ☎74-0804

議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員長	委員
山崎	山本	山本	鈴木	青山	金谷
祥子	由美子	健司	圭一	祐司	聡

石狩川の全長は26.8km、日
本で3番目に長い河川であるが、
本来の長さ36.5kmあり、日本
一の信濃川に匹敵する長さだった
そうである。

明治期、石狩川は大雨のたびに
氾濫を繰り返して入植者を大い
に悩ませた。北海道開拓における
石狩川の治水は最大の課題で
あったが、岡崎文吉博士による画
期的護岸技術である単床ブロッ
クの発明、さらに蛇行する石狩川
の流れの直線化工事により、川の
水を早く海に流下させることで
洪水被害は大幅に減少した。

石狩川のショートカット工事の
中で最初にして最大規模なのが
昭和6年完成の生振捷水路であ
る。現在生振地区の北東を流れ
ているまっすぐな石狩川は人工の
水路であり、曲がりくねった原始
石狩川の痕跡が茨戸川である。

先人の遺した壮大な治水事業
の痕跡が私たちの生活の場のす
ぐ近くにあることを石狩市民と
して誇りに思う。

編集の窓

☆市議会だよりをご覧くださいありがとうございます。皆さまのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

石狩市議会の会議録をご覧ください

2次元バーコードから石狩市議会定例会と臨時会の会議録が閲覧できます。
または市役所ホームページから右側の石狩市議会をクリックし、
会議録検索をクリック!



ERIS 議会の情報は「えりす いしかりネット
テレビ」でもご覧いただけます!

